

2009年度通常総会を開催しました！

理事長 鍵谷誠一



5月16日(土)午後1時より、高槻市総合市民交流センターにおいて、2009年度通常総会が開催されました。

正会員総数65名(個人:44、団体:21)の中、書面表決5、委任状25を含めて、57名の方が出席されました。

議長には北摂SITAの会高槻支部代表の岡村孝男さんが選出され、2008年度の事業報告、収支決算報告につづき、2009年度の事業計画、収支予算が審議され、理事会提案通り全会一致で承認されました。

2009年度は、「中期戦略2008」に基づく活動の2年目として、行政単独では出来ない事業分野、個別の市民活動団体がやれない連携・協働に重点を置いて、以下の事業に取り組めます。

(1) 市民参加を促進する事業

「高槻市民が知りたい100項目」(08年改訂版)のPRと頒布

「まちづくりルネッサンス塾」の開催

団塊シニア世代の市民活動への参加促進活動

(2) 市民協働を促進する事業

「たかつきNPO協働研究会」活動の促進

「第5回NPO協働フェスタ」実行委員会への参画

市民・市民活動団体の情報活用力の向上支援

ホームページの充実

(3) 市民活動の環境を整備する事業

近隣都市の市民活動支援組織と連携強化

(4) 市民活動に関する調査・研究・政策提言事業

冊子「市民活動と行政の協働を考える」の活用

(5) 市民活動拠点施設を管理運営する事業

高槻市市民公益活動サポートセンターの運営参画

市民活動センター「みんなの家」の運営参画

役員を選任について

次期役員は、役員選挙管理委員会の提案どおり全会一致で次の方が選任されました。

任期は2011年度通常総会までの2年間。

理事(8名):飯村六合夫、鍵谷誠一、田中恵子、西村逸郎、日比徹、宮地剛、山下征紀、(以上再任7名)、淵上節子(以上新任1名)

監事(2名):境 毅、三俣玲子(以上再任2名)

第1回理事会で役員を担当を決定しました

理事長：鍵谷誠一

副理事長：山下征紀

事務局長：飯村六合夫

(1) 市民参加を促進する事業：

山下征紀、鍵谷誠一、淵上節子

(2) 市民協働を促進する事業：

宮地剛、山下征紀、西村逸郎、日比徹、田中恵子、淵上節子、鍵谷誠一

(3) 市民活動の環境を整備する事業：

鍵谷誠一、山下征紀

(4) 市民活動に関する調査・研究・政策提言事業：

鍵谷誠一

(5) 市民活動拠点施設を管理運営する事業

西村逸郎、飯村六合夫、日比徹

市民公益活動サポートセンター管理運営委員会正会員選任について

2009年度の管理運営委員会正会員1名として、理事会の提案通り西村逸郎さんが選任されました。

自治会とNPOの協働で、住民自治を実現しよう！

講演：「住民自治実現の課題と西神ニュータウン自治会の取り組み」

講師： 絹川正明さん(地域共生研究所所長、神戸西神ニュータウン竹の台自治会長)

1. 住民自治実現の課題

「社会は個々の地域のコミュニティの集合である。地域での活動を通して日本社会の抱える様々な問題・課題をかいま見る事が出来る。地域が住民自治力を付ける事で日本社会に活力を取り戻す。しかし上位下達のコミュニティ政策、地域団体同士の離反、地域民主性の不在、地域情報に対する認識不足、NPO との距離等地域社会自体が多くの困難を抱えている。」



住民と自治体の適度の緊張感や住民からの内生的な動きがない中、行政主導で住民自治組織を作ると屋上屋でしかない。竹の台は今年の4月に今まであった「ふれあいのまちづくり協議会」を地域を代表する組織に衣替えをした。これが、対行政の窓口になったり、地域の色々な団体に対するネットワークの元締めになって行く。

◆竹の台基金の創設

竹の台子供安全基金を平成19年に創り、60万円(一口1,000円)のお金が集まった。地域が寄付の受け皿を用意すると、共同募金に出すよりもこの基金に出した事によって竹の台の防犯活動も目に見えて良くなったと感じてくれる。

2. 西神ニュータウンでの取り組み

◆地域情報の提供

先ず、地域の住民にどれだけ地域の情報が与えられるかがベースになる。行動を起こす元になる情報を住民に与えないでボランティア活動に参加と言っても無理。取りあえず地域に情報を流すことから始めた。竹の台総合新聞を年6回発行(3300世帯全戸配付)し、ホームページも開設している。

◆アンケートの実施

アンケートは必ず年に3回位取っている。アンケートの結果を踏まえて軌道修正をしている。自分達の住んでいる地域で自分達が活動する事によって地域社会がよくなったと実感が出来るのが地域のコミュニティの良さ。

◆縦割りの打破

行政が何を言おうが組織の整理統合を進めて来た。大事ななのは全ての地域団体の会計の公開。5月末に出る竹の台総合新聞では全部の団体の会計を住民に公開する。相互の活動ぶりが分かるし、税金で成り立っている助成金だからこれを公開するのは非常に大事な事だと思う。

◆住民自治

住民自治の最も根っこは、先ず、権力・権限を持つこと。現在の住民自治の議論は、住民組織に実権を付与する事無く地域力を強化する方向で進んでいる。

◆コミュニティビジネスへの挑戦

地域の為に頑張ってくれた人に、例え僅かでも地域から謝礼が出来る仕組みを創りたい。そのためには法人格が要ると思うので今年中に「ふれあいのまちづくり協議会」の傘下に、NPO法人をつくり、コミュニティビジネスをどんどんやって行く。

◆市民参加・参画とは

アメリカの社会学者アーンシュタインが、「市民参加とは市民に対して彼らの目標を達成する事が出来る権力を与える事であり、その意味での権力を伴わない参加は市民参加には値しない」、要は権力であり、情報提供とか表面的な意見聴取みたいなものは市民参加では無いと言っている。

◆団体規約の重要性

住民団体の規約には会計の公開が入っていないが、出来るだけNPO法人の定款に近いようなものにする必要がある。

◆最後に

NPOでも、住民団体でも、行政とNPOとの通訳、住民団体と行政の通訳みたいなものが非常に大事ではないか。

(文責:鍵谷。テープ起こし協力:弘瀬さん)

第9回NPO協働研究会の報告

第9回NPO協働研究会を4月4日、6月13日の両日、花の会・共働舎で行いました。

この研究会の趣旨は「アイデアの種を関係する苗床に移し、花を咲かせてみる」ことの実践をねらったものです。これのベースはTCANが実施した「高槻市におけるNPOの協働促進のための調査報告」からスタートしたものです。

このようなプロセスを昨年度は会員江口さんの種を企画、製造・販売ルート開発として、プロジェクトとして展開したのが、酒粕チョコレート「TORIKO」でした(会報24号参照)。

第9回会合の主題は、TORIKOプロジェクトの反省と、今後の取り組みについてです。反省の情報・資源整理の上、「今城塚はにわサブレ(仮称)」の新商品企画を目指すことになり

山下 征紀

ました。

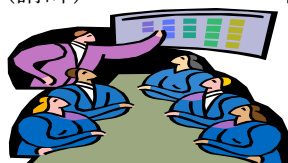
花の会には、クッキーを焼き、販売している実績があります。高槻には、ハニワ公園、今城塚古墳が存在し、ブランド力に育て上げられる可能性もあります。さらにありがたい事に、今城塚の名を冠した商標登録を提供していただけるTCAN会員のご支援があること。また、TORIKOでの販売ネットに重ねることが出来ること。

興味を引くのは、サブレのコンテンツです。埴輪のイメージからは、古米・五穀米・十穀米・黒米、米粉や無農薬抹茶などに話題が集中。目下、商品見本を制作し、テストマーケティングの具体化、パッケージデザイン作成の内容をつめている段階です。興味と別種の関心のある方も是非参加してご支援下さい。



第1回まちづくりルネッサンス塾の報告

「たかつきルネッサンス塾」が発展して、今年度から新しく「まちづくりルネッサンス塾」になり、第1回が6月14日、交流センターで開催されました。5月16日のセミナー(絹川さんの「住民自治実現の課題と西神ニュータウン自治会の取り組み」)のフレームにそったもので、住民自治の実現をめざして自治会など地域活動の学習やネット化の可能性を模索・意識した塾をめざします。第1回は「地域活動の中に自分を探す～自治会・NPO・ボランティアの実際」で、TCANのAROUND60のメンバーの山下・鶴川(講師)が、高槻の実態と自分とを重ねてみる事を意図した手作りの試みでした。このプログラムについては、既に団塊シニア対象の3時間のプログラムを、や



山下 征紀

や圧縮して手直して、のぞみました。

参加者は19名、大阪市内からの飛び入りもあり、教材の内容をあえて削りなかつたので、やや進行上、時間不足、消化不良の感を禁じ得ませんでした。これは大いなる反省点にしたいと思います。

この「まち」を創って行くには、ニーズの把握の上に、具体的な戦略性の必要指摘、自治会とNPO間の連携の具体化の例、ボランティアの選択/探し方等の質問と合わせ、アンケート内容も、極めて好意的なものが多く、関係する課題の多様な事象を吟味した突破口を意識させられました。受付ボランティアのMさん、Hさん、ありがとうございました。

サポートセンター管理運営委員会総会の報告

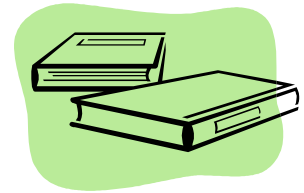
高槻市市民公益活動サポートセンター管理運営委員会の総会は、6月2日に、新しく開設される「協働プラザ(仮称)」で開催されました。

平成20年度活動・事業報告、会計報告および監査報告、および平成21年度活動・事業計画案、予算案が原案通り承認されました。

西村逸郎

新年度役員には、運営委員長に山本洋子さんほか、センター長には長谷川隆さんが選出され、TCANからは西村逸郎理事が管理運営委員会常任委員として、テーマ別交流会および協働フェスタの開催を中心に運営に参画していくことになりました。

TCAN 活動報告(2009年4月～6月)



トピックス

- …うれしい！…5月16日 NPO 法人たかつき市民活動ネットワーク 2009 年度総会開催。第 2 部として「市民が主役のまちづくりセミナー」を開催、記念として冊子「市民活動と行政の協働を考える」を発行。IHOE・川北代表の blog 掲載協力もあり、大分県ボランティア市民活動センターや岐阜県関市の NPO ぶうめらんなどにも頒布いたしました。冊子の付加価値・有効性を感じています。
- …ややこしい！…NPO 法人格取得後最初の総会を終えて、府庁生活文化部 NPO グループに事業報告書等や役員変更書を、大阪北法務局へは変更登記申請書を提出しました
- …ホッとした！…また、3月手続きの「法人税(市民税)の減免申請」も受理されました。
- …定額給付金！…「定額給付金を NPO への寄付に！」関西ネットワーク(KNPO)に参画し、KNPO のブログに TCAN の HP をリンク。

定例会議・会合

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| 理事会 <定例;毎月第2月曜日> | みんなの家運営協議会<毎月第2金曜日> |
| たかつきNPO協働研究会<偶数月第1土曜日> | IT活用委員会 <1,4,7,10月第2土曜日> |
| シニア・団塊世代の生活設計プロジェクト<第1,3土曜日> | |

行学会合

- 5月31日; 市民活動センター「みんなの家」環境整備活動実施
- 6月2日; 高槻市市民公益活動サポートセンター管理運営委員会総会参加
- 6月14日; 第1回まちづくりルネッサンス塾開催



TCANの今後の予定(2009年7月～)

- 6月28日(日) セカンドステージ応援セミナー in 茨木(茨木市立生涯学習センター・きらめき)に参画
- 7月11日(土) IT活用委員会
- 7月13日(月) 18:30～20:00 「市民活動と行政の協働」第1回学習会
- 7月13日(月) 20:00～21:00 第2回理事会
- 7月26日(日) 第2回まちづくりルネッサンス塾(市立総合市民交流センター3F 第1会議室)開催

「市民活動と行政の協働」第1回学習会

日時:7月13日(月)18:30～20:00

場所:TCAN事務所

テキスト:冊子「市民活動と行政の協働を考える」の第3部を中心に。

参加費:無料(上記冊子は有料です)

会員以外の方の参加も歓迎します。

第2回まちづくりルネッサンス塾

日時:7月26日(日)14:00～16:00

場所:総合市民交流センター3F 第1会議室

講演:「池田市における『地域分権』について」

講師:木田公彦氏

(池田市総合政策部政策推進課 課長)

資料代:500円

【編集後記】

5月16日の「市民が主役のまちづくりセミナー」で講師の絹川さんの次の言葉が印象的でした。
「市民参加とは市民に対して彼らの目標を達成することができる権力を与えることであり、その意味での権力を伴わない参加は市民参加というのには値しない」(アメリカの社会学者S・アーンシュタイン) 【SK】